



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年1月30日

上場会社名 株式会社 エックスネット 上場取引所 東
 コード番号 4762 URL <https://www.xnet.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 茂谷 武彦
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 管理本部長 (氏名) 坪田 浩司 TEL 03-5367-2201
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円 4,179	% 5.5	百万円 741	% 15.8	百万円 729	% 16.2	百万円 349	% △17.1
2025年3月期第3四半期	3,961	△4.8	640	△21.0	627	△25.0	421	△25.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 83.61	円 銭 —
2025年3月期第3四半期	91.17	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 5,963	百万円 3,065	% 51.4
2025年3月期	6,680	2,921	43.7

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 3,065百万円 2025年3月期 2,921百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 22.50	円 銭 —	円 銭 22.50	円 銭 45.00
2026年3月期	—	22.50	—	25.00	47.50
2026年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2026年3月期の業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円 5,600	% 5.6	百万円 1,000	% 16.2	百万円 990	% 16.6	百万円 520	% △10.6	円 銭 124.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3Q	8,261,600株	2025年3月期	8,261,600株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	4,081,693株	2025年3月期	4,081,628株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	4,179,925株	2025年3月期 3Q	4,625,260株

(注) 期末自己株式数には、当社の取締役（社外取締役及び監査等委員である取締役を除きます。）、執行役員及び従業員を対象とする株式報酬制度の導入により採用した信託口が保有する当社株式（2026年3月期第3四半期 800,000株）が含まれております。また、信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

① 売上高

当社は、社会的存在意義であるペーパスを「資産運用業界に新しい価値を生み出し、社会の今と未来を支える」と定めております。当社はペーパス実現に向け、資産運用管理ソリューション「XNETサービス」の提供を通じ、資産運用業界におけるあらゆる課題解決に貢献することで、よりよい社会の基盤作りと更なる発展を目指してまいります。

資産運用管理ソリューション「XNETサービス」は、大別して以下に区分されます。

- ・有価証券管理システムを中心としたXNETシステムの月額利用料を収益源とするアプリケーションサービス
- ・XNETシステムに関する導入や保守、会計制度変更対応等の業務を請負うAMOサービス
- ・XNETシステムを利用して、機関投資家の経理事務等の実務を受託し、効率的に集約、処理することで収益を得るSOサービス

これらのうち、アプリケーションサービス、SOサービスおよびAMOサービスのなかで継続的なシステム保守サービスについては、当社の安定的な収益基盤を支えるコアサービス（コア売上）として捉え、より積極的にビジネス拡大を推進しております。

（アプリケーションサービスの状況）

アプリケーションサービスのうち、主力である有価証券管理システムについては、大手損害保険会社に対する有価証券フロントシステムの提供開始や、保険会社および地域金融機関に対する有価証券バックシステムの提供開始などにより、引き続き堅調に推移しております。また、融資管理システムについても新規顧客に対する提供を開始したほか、個人向け信託管理システムについても順調に稼働するとともに、導入社数は徐々に拡大しております。

以上の通り、アプリケーションサービスについては全体として安定的に推移していることに加えて、マーケットデータ等の仕入を伴う一部サービスについては、仕入コスト増加に伴う利用料改定も寄与し、売上高としては前期比増収となりました。

（AMOサービスの状況）

AMOサービスについて、採算性の低いスポット案件からは撤退したものの、比較的規模の大きい複数のシステム導入案件（スポットAMOサービス）受注のほか、コア売上につながる継続保守案件（月額AMOサービス）も引き続き拡大しております。人財投資等によるコスト増を吸収するため単価の改定を進めたこと等もあり、サービス全体を通じて前期比増収を確保しております。

（SOサービスの状況）

SOサービスについては、従来からの投信・投資顧問会社向けサービスが引き続き堅調であるほか、生損保業界に対して、前第3四半期より3社目のサービス提供を開始するなど、徐々に規模を拡大した結果、前期比増収となっております。生損保業界へのSOサービス展開については、現在も複数の会社に対して導入準備を進めております。

以上のような要因により、2026年3月期第3四半期（2025年4月1日から2025年12月31日まで）の売上高は、中核商品である「XNETサービス」の売上高が4,171百万円（前年同期比5.4%増）となり、機器販売等を含めた売上高は4,179百万円（前年同期比5.5%増）となりました。

売上高の内訳は下表の通りです。

品目	2025年3月期第3四半期		2026年3月期第3四半期		
	金額	構成比	金額	構成比	前年同期比
(1) XNETサービス	百万円 3,958	% 99.9	百万円 4,171	% 99.8	% 5.4
アプリケーションサービス	2,869	72.4	2,976	71.2	3.8
AMO・SOサービス	1,088	27.5	1,195	28.6	9.7
(2) 機器販売等	3	0.1	7	0.2	149.7
合計	3,961	100.0	4,179	100.0	5.5

また当社は、2023年3月期より4カ年の中期経営計画を策定し、このなかで新たに売上を以下の区分に分け、管理することといたしました。

- ・ コア売上：サブスクリプションモデルにより安定的に売上を確保できるセグメント
(対象サービス) アプリケーションサービス、AMOサービス(月額)、SOサービス
- ・ スポット売上：コア売上を維持するために必要ではあるが、あくまで一過性の取引による売上
(対象サービス) AMOサービス(スポット)

このうち、コア売上について、当社の安定的な収益基盤の確保につながるものと捉え、2026年3月期におけるコア売上高50億円の達成を目指として掲げております。当第3四半期においてはコア売上高3,683百万円となり、前年同期比4.7%増となりました。

前述の通り、比較的採算性の低いスポット案件からの前期での撤退完了による減収影響が第1四半期で収束し、第2四半期以降スポット売上高が前年同期比増加に転じるとともに、コア売上高については継続的に拡大し、総売上高に占める割合も88.1%と高水準を維持しております。

② 営業利益、経常利益、四半期純利益

当第3四半期の利益は、営業利益741百万円(前年同期比15.8%増)、経常利益729百万円(前年同期比16.2%増)、四半期純利益349百万円(前年同期比17.1%減)となりました。

当第3四半期においては、人財投資による労務費の増加や役員に対する株式報酬コストなど販管費の増加が利益を圧迫しました。一方、NTTデータグループからの離脱に伴う一過性コストが前期で収束したほか、スポット案件撤退により業務委託費等は減少しました。增收効果も含め、全体として利益押し上げ要因が上回ったことから、利益については大幅に改善し、結果として、当第3四半期の営業利益率は17.7%と、当社が中期経営計画のなかの目標の一つとして掲げる営業利益率15.0%を上回る水準となっております。

また、2025年7月31日付けで公表いたしました「特別損失の計上、業績予想の修正および配当予想の据え置きに関するお知らせ」の通り、株式報酬制度の導入に伴い特別損失を計上した結果、四半期純利益は349百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産は、主に有価証券の減少により前期末比717百万円減の5,963百万円となりました。負債につきましては、主に短期借入金の減少により前期末比860百万円減の2,898百万円となりました。純資産につきましては、主に繰越利益剰余金の増加により、前期末比143百万円増の3,065百万円となり、自己資本比率は51.4%(前期末43.7%)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期通期業績については、上述の2025年7月31日付けリリースの通り、株式報酬制度の導入に伴い特別損失等を計上したことにより、主に当期純利益について期初予想から下方修正いたしました。一方で、「XNETサービス」については第2四半期以降も堅調に推移し、業務委託費等の売上原価についても想定を下回った結果、営業利益率が目標を上回る水準で推移しております。この傾向は当期末まで続くものと見込んでおります。

この結果、2025年10月31日公表、「2026年3月期 第2四半期(中間期) 決算短信〔日本基準〕(非連結)」記載の2026年3月期通期予想について、下記のとおり修正いたしました。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 5,600	百万円 900	百万円 880	百万円 440	円 銭 105.27
今回発表予想(B)	5,600	1,000	990	520	124.40
増減額(B-A)	0	100	110	80	19.13
増減率(%)	0	11.1	12.5	18.2	18.2
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	5,300	860	849	581	128.74

なお、業績見通しについては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	1,456,027	1,181,706
売掛金	347,309	335,368
有価証券	300,000	—
契約資産	62,660	125,870
前払費用	48,472	46,392
その他	6,327	6,696
流动資産合計	2,220,796	1,696,033
固定資産		
有形固定資産		
建物	92,654	92,654
減価償却累計額	△48,066	△51,274
建物（純額）	44,587	41,379
工具、器具及び備品	233,830	237,423
減価償却累計額	△186,126	△195,946
工具、器具及び備品（純額）	47,703	41,477
有形固定資産合計	92,291	82,857
無形固定資産		
ソフトウェア	1,016,166	1,026,626
ソフトウェア仮勘定	204,587	242,296
電話加入権	993	993
無形固定資産合計	1,221,747	1,269,916
投資その他の資産		
投資有価証券	2,697,866	2,498,043
敷金及び保証金	201,601	204,169
繰延税金資産	245,860	211,810
その他	797	573
投資その他の資産合計	3,146,125	2,914,596
固定資産合計	4,460,164	4,267,369
資産合計	6,680,960	5,963,403

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流动負債		
買掛金	—	199
短期借入金	2,500,000	1,500,000
未払金	319,619	246,730
未払費用	35,399	63,028
未払法人税等	112,344	84,466
未払消費税等	17,485	62,775
前受金	143	6,923
預り金	17,394	73,819
賞与引当金	123,712	37,726
役員賞与引当金	—	19,484
株式給付引当金	—	7,089
役員株式給付引当金	—	21,549
流动負債合計	3,126,098	2,123,792
固定負債		
退職給付引当金	604,052	602,961
株式給付引当金	—	133,919
資産除去債務	19,498	19,619
その他	9,510	18,006
固定負債合計	633,061	774,507
負債合計	3,759,160	2,898,299
純資産の部		
株主資本		
資本金	783,200	783,200
資本剰余金		
資本準備金	1,461,260	1,461,260
資本剰余金合計	1,461,260	1,461,260
利益剰余金		
利益準備金	17,397	17,397
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	6,619,101	6,706,499
利益剰余金合計	6,636,498	6,723,897
自己株式	△5,959,158	△5,903,252
株主資本合計	2,921,800	3,065,104
純資産合計	2,921,800	3,065,104
負債純資産合計	6,680,960	5,963,403

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高		
役務収益	3,958,149	4,171,987
商品売上高	3,013	7,526
売上高合計	3,961,163	4,179,514
売上原価		
役務原価	2,836,381	2,876,530
商品売上原価		
当期商品仕入高	2,478	6,014
合計	2,478	6,014
商品売上原価	2,478	6,014
売上原価合計	2,838,859	2,882,544
売上総利益	1,122,303	1,296,969
販売費及び一般管理費		
業務委託費	60,779	76,748
給料及び手当	189,648	217,658
賞与引当金繰入額	3,515	3,950
役員賞与引当金繰入額	25,732	18,345
株式給付引当金繰入額	—	4,295
役員株式給付引当金繰入額	—	21,549
退職給付費用	3,328	5,037
法定福利費	21,044	22,345
賃借料	11,887	12,125
支払手数料	89,423	85,794
減価償却費	14,771	17,669
その他	62,138	70,334
販売費及び一般管理費合計	482,269	555,854
営業利益	640,034	741,114
営業外収益		
受取利息	282	1,479
有価証券利息	22,829	19,816
雑収入	236	989
営業外収益合計	23,349	22,286
営業外費用		
支払利息	14,820	15,450
支払手数料	21,000	18,950
営業外費用合計	35,820	34,400
経常利益	627,562	729,000
特別損失		
株式給付引当金繰入額	—	122,764
特別賞与等	—	13,692
特別損失合計	—	136,457
税引前四半期純利益	627,562	592,542
法人税、住民税及び事業税	159,630	209,000
法人税等調整額	46,230	34,050
法人税等合計	205,860	243,050
四半期純利益	421,702	349,492

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	326,047千円	325,533千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間（自2024年4月1日 至2024年12月31日）及び当第3四半期累計期間（自2025年4月1日 至2025年12月31日）

当社は、XNETサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。